

### 3月定例議会審議日程 (開始はいずれも午前10時から)

月 日 (曜)	会議名	会議室名	備考
2月28日 (木)	本会議	議場	提案説明 総括質疑
3月1日 (金)	本会議	議場	総括質疑
3月4日 (月)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月5日 (火)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月6日 (水)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月7日 (木)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月8日 (金)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月11日 (月)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月12日 (火)	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月13日 (水)	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月15日 (金)	一般質問	議場	
3月18日 (月)	一般質問	議場	
3月19日 (火)	一般質問	議場	
3月20日 (水)	一般質問	議場	
3月25日 (月)	本会議	議場	議案等採決

## 「正副管理者と相談し、消防職員の増員を考えていきたい」 上越地域消防事務組合議会での私の質問に消防長が明言

上越地域消防事務組合議会 16年度のデータで見ると、定例会が19日、開催され、75.7%であり、全国平均の77.4%を下回っている。今回の定例会では、2019年度一般会計予算や職員給与に関する条例の一部改正など7議案について審議し、いずれも全会一致で可決しました。

2019年度一般会計予算の審議の中で、私は、組合の組織体制の充実強化を求め、14次組合職員の整備率は20%

また、私は、新年度が第14次組合消防整備計画の総

16年度のデータで見ると、北消防署の整備(移転整備)の進み具合についてふれ、計画では、今次計画期間中に、整備にあたっての論点や実現可能性を整理し、整備場

所を選定するとなっていたはずだ。どこまで検討が進んでいるのかと質問しました。

担当課長は、「いま現在、ハッキリした形で検討していない。(仮称)消防本部・上

越北消防署の建築整備が進められているなか、(同時に)頸北消防署もというわけにはいかず、(本格的な)

### 住宅リフォーム促進事業など25事業を廃止へ

上越市は20日の市議会総務常任委員会で、今年度行った事務事業評価結果を明らかにしました。

このなかで2019年(平成31)度から2023年度までに廃止する事業は、市政モニター、運転免許証自主返納支援事業、住宅リフォーム促進事業、ペレットストーブ購入補助など25に上ることを明らかにしました。

これらの事業の廃止にあたって市は、今後、関係者などへの説明や協議を十分行いながら進めていきたいとしています。

越北消防署の建築整備が進められているなか、(同時に)頸北消防署もというわけにはいかず、(本格的な)検討は次期計画のなかでということになる」とのべました。

頸北消防署は1981年(昭和56年)2月に建築されていいますが、老朽化が著しいほか、消防力適正配置調査結果で、大湊区、吉川区等のカバー率向上のためにも最適位置への移転整備が必要だとされています。今後の議会で移転整備が当初計画よりも先に伸びないよう求めていきたいと思えます。



【ジンチョウゲ?】つぼみの形、葉の形から見て、おそらくこれは常緑低木のジンチョウゲ(沈丁花)のつぼみだと思います。(?)をつけたのは、つぼみの段階で見たのは初めてだからです。花が楽しみです。吉川区にて、1月22日撮影。

消防本部		消防ポンプ自動車 (署所管理分)	はしご自動車	化学消防車	救急自動車	救助工作車	消防水利	消防職員
上越地域消防事務組合	算定数	13	3	3	11	2	7815	383
	整備数	13	3	3	11	2	6842	290
	比率 (全国比率)	100% (98.9%)	100% (86.4%)	100% (85.7%)	100% (94.3%)	100% (91.2%)	87.5%	75.7% (77.4%)



**No.1898 2019.2.24**  
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第五四六回 孫に励まされて

私の父の口癖のひとつは「孫は自分の子どもの一〇倍かわいい」でした。今月三日の夜に亡くなった従兄の文英さんも同じだったようです。

通夜式が終わった後で、棺の中を見たとき、明らかに、孫たちからのものと思われる手紙が三通ありました。

三通は重なっていましたので、全体が読めたのは水色の用紙に書かれた手紙だけでした。そこには、「おこめをつくってくれてありがとう」「マンガをかってくれてありがとう」と書かれています。

他の三通にも、「じいじへ お米を作ってくれてありがとう(ました)」「お米おこめてくれてありがとう」。

(中略)これからもガンバルから見えて(てね)。だい好きだよなどと書かれています。

三通ともお米のことが書かれていたのは、「じいじ」と言えば、コメを作って、自分たちの家へ送ってくれる人という印象が強かったからだと思います。たぶん、大島区竹平の「じいじ」の家に行くとき、「じいじ」はいつも田んぼ仕事をしていたに違いないありません。

そしてもう一つ、三通の手紙に共通したことがありました。いずれの手紙も用紙の一角に絵が描かれていたのです。メガネをかけた男性が両手を上げている絵は、元気に仕事をしていたころの文英さんなのではないでしょうか。まんまるの顔をした子どもが「大好きだよ」と言っているのもあります。どの絵も文英さんに見てもらいたくて描いたものなのでしょう。

もちろん、「じいじ」は田んぼで仕事をしていただけでなく、孫たちが来れば、いつも遊び相手になっていました。私が葬儀の際、見せてもらった写真の一

枚に、「のうの」(屋号)の車庫のそばで「じいじ」と孫が雪遊びをしているものがありました。雪の上でソリを引っ張って遊んでいる孫がいて、その様子をすぐそばでやさしく見つめる「じいじ」がいる。派手さはなく、孫と遊ぶ喜びが静かに伝わってくる写真でした。

私は、一〇年ほど前から、ほぼ毎週、文英さんの家に行っていたのですが、正月、五月の連休、お盆のころに行くと、玄関の雰囲気が一変していました。小さな靴がいくつも並んでいて、パーっと賑やかになっていたのです。そういうとき、玄関先で文英さんに声をかけると、「孫たちが来るがど」と言っていて、いつもうれしそうでした。

文英さんは数年前に体調を崩し、闘病生活に入りました。以来、東京在住の次女、S子さん夫婦の家に世話になりながら、病院へ通う、場合によっては入院することが多くなりました。いうまでもなく、孫たちと一緒に時間も増えました。

「ああ、『のうの』の文英さんは、孫と一緒にの生活のなかで愛され、元気をもらい続けていたんだな」。そう思ったのは、棺の中に入った「じいじ」の唇にお酒をぬってあげ、体にも少しかけてあげていた子どもたちの姿を見たときでした。何をしても「じいじ」が一番喜ぶか、よくわかっていたので。

一三日、呼吸困難に陥った文英さんのところへ孫たちがかけつけました。いつもおいしいコメを作ってくれた大好きな「じいじ」の苦しんでいる姿を見て、孫たちは、「じいちゃん、頑張って!」と何度か声をかけました。すると、なんとということでしょう、文英さんが「おーっ」と言ったというのです。しかも二度も。

## 吉川体育館の照明器具、修理が始まっています



「吉川区新年を祝う会」で参加者の方から、「吉川体育館の照明、直すよう市に働きかけて」と要請されました。市の担当者に伝えたところ、消えていた照明器具の取り換えが始まっています。まもなく、すべてが終わると思います。写真は20日の夜、撮影しました。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月13日(水)	2月20日(水)
上越南消防署	0.050	0.047
上越北消防署	0.043	0.040
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.060	0.050
東頸消防署	0.040	0.050
高士分遣所	0.057	0.050
名立分遣所	0.053	0.053

### 聴信寺の掲示板から

直江津の三八市の通りにある聴信寺の掲示板、新しい言葉が掲示されています。昨今の新聞、テレビで流れる親子のトラブル、事件のニュース、切ないですね。掲示板の言葉から学び、いい親子関係を築きたいものです。

